



会 議 録

八幡市教育委員会

開 催 日 時	令和6年5月27日（月曜日） 午後3時～午後4時10分		
場 所	本庁舎3階 教育委員会室		
出席委員名	川 中 尚（教育長） 橋 本 陽 生（職務代理者） 佐 野 恵理子	八頭司 めぐみ 狩 野 理恵子	
委員を除く 出席者の 職 氏 名	部 長 辻 和 彦 次 長 渡 邊 晋 こども未来課長 高 橋 洋 貴 子育て支援課長 成 田 孝 一 子育て支援課総括園長 矢 田 真 弓 学校教育課長 家 村 聡 一	文化財課長 田 制 亜紀子 教育支援センター所長 安 達 里 香 教育集会所主幹 梅 野 尚 史 図書館長 小 坂 富美子 生涯学習課長 辻 博 之 こども未来課 加 川 美 和	

1. 開 会

2. 報 告 事 項

- (1) 令和6年度研究指定校等について (こども未来部次長) ※資料1
- (2) 令和6年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数
(市独自速報値)について (こども未来課) ※資料2
- (3) 令和6年度放課後児童健全育成施設入所の児童数について (こども未来課) ※資料3
- (4) 令和6年度八幡市立保育園の園児数について (子育て支援課) ※資料4
- (5) 小学校水泳指導業務委託について (学校教育課) ※資料5
- (6) 令和6年度八幡市教育支援センター事業方針について (教育支援センター) ※資料6
- (7) 第八回徒然草エッセイ大賞について (生涯学習課) ※資料7
- (8) 第三回松花堂昭乗イラストコンテストについて (生涯学習課) ※資料8

3. 議 題（協議事項）

- (1) 社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について (生涯学習課) ※資料9

4. その他

- ・ 園、学校訪問について

5. 配付資料

- ・ 4月分議事録（写し）

6. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：6月17日（月）午後3時から

場所：庁舎4階 会議室4-1

※学校訪問先

有都こども園（10：00）

有都小学校（11：30）



	内 容
	1. 開 会 それでは、令和6年5月度の定例教育委員会を開催いたします。こども未来課 [教 育 長] 本日の教育委員会に1名の傍聴の申し出がございますので、報告いたします。 [高 橋 課 長] [教 育 長] ただ今、事務局より報告のありました1名の傍聴の申し出に対しまして、委員会の傍聴の取り扱い、八幡市教育委員会傍聴規則第1条で教育長の許可を得た者は、傍聴をすることができますと規定されておりますが、委員の皆さんより何か意見はございますか。 [全 委 員] 意見なし。 [教 育 長] 特に意見がないようですので、教育長として可否を述べます。教育長として、傍聴を許可したいと思います。それでは、事務局から傍聴人に入場するように伝えてください。 暫時休憩いたします。 《傍聴人が入場し着席》 [教 育 長] 休憩前に引き続き、会議を開きます。 2. 報告事項をお願いします。報告事項(1)「令和6年度研究指定校等について」、事務局より報告願います。こども未来部次長。 2. 報 告 事 項 [渡 邊 次 長] (1) 令和6年度研究指定校等について 令和6年度研究指定校等について、ご報告させていただきます。資料1をご覧ください。 今年度の大きな変更としましては、令和3年度から令和5年度の3年間指定を受けておりました人権教育総合推進地域事業が昨年度末に終了しておりますので、それが抜けております。それ以外につきましては昨年と同様に指定を受けております。 中身の学校が少しずつ変わっておりまして、3つ目の特別支援教育充実事業に関しましては男山第三中学校から男山第二中学校に指定が変更しておりましたり、4つ目の特別支援学級の授業づくりは昨年度計上できてなかったんですが、昨年の南山小学校から今年度男山中学校にというふうに、いくつか指定の学校は変わっておりますが、八幡市として指定を受けて実施するものは変わりありません。以上、報告させていただきます。 [教 育 長] ただ今の報告事項について、委員よりご質問はありませんか。 [狩 野 委 員] 京都府教育委員会の方で幼小連携のコンサルテーション事業というのを行っております。今年度も年度当初にいかにか育ちと学びをつなぐかということで、とても意識的に取り組まれている学校がございまして、1年生の様子を見に行かせていただきました。本当に緩やかな段階というか1年生が朝ゆったりと過ごすことで、ものすごく授業に効果が出ている状態を見させていただきましたので、ぜひまた今後来年度以降になるんですけど、そういうものにも取り組んでいただけたらうれしいなと思って。1年生が目キラキラさせながら、さあ今から授業に向かうっていう様子を見てきておりますので、そういうことが学びのスタートとしてすごい素晴らしいなと思いましたので、また今後よろしく願います。ご検討ください。 [教 育 長] 他に質問はございませんか。 [橋 本 委 員] 研究指定校の指定そのものについて、これは学校の方から手を挙げて希望されているのか、教育委員会の方から逆をお願いされているのか、あるいはその両方なのか。その辺りの決まり方の問題が1つ。 指定された人権教育総合推進地域事業はもう終わったということですが、終わった後どういう形でまとめられ、皆に周知されているのか。その成果が活かされているのか。その辺りをお伺いいたします。 [渡 邊 次 長] まず指定校の選定についてですが先ほど委員がおっしゃっていただいたとおり、どちらもというのが答えになるかと思います。各校が研究を進めることを後押しするために指定しているというものと、人の確保を少し目的とし指定を受けるといふ部分と、どちらもあるかなと考えております。 人権教育総合推進地域事業につきましては、3年間で外国人生徒受け入れ手引きというも



	のを作成いたしました。これを元にどの学校でも外国人生徒、日本語が母語ではない生徒を受け入れるということがスムーズに行えるようになっております。指定はもちろん外れてしまったんですけれども、事業が終わりという意味ではなくてスタートラインに立ったということで、今年度より実際に動いているというようなものになります。今年度は日本語教室を八幡小学校にプラスして男山第三中学校にも京都府の方から配置いただきました。今まだ試行という形で少しずつしか動いていませんが、今のところ2学期を目途に教室を2つに増やして、日本語の指導を進めてまいりたいというふうに考えております。
[橋 本 委 員]	特に外国人等の指導に絡むそういったことについては、今日の学校訪問にも関わるところがあるんですけれども、外国籍の子どもたちが非常に増えてきている中で注目してきたことでもありますので、冊子等にまとめられているんですか。そういうものを我々にもいただけるのかどうか。また冊子を配るだけではなくて、広く研究発表の場として何かこう学習の場のようなものを作って、相互育成できるように成果を発表していただくというようなことが各学校の直接的な、担当がおられるかどうか分かりませんが、そういった方に広がり具体的な形で持たせていく機会になるのではないかなと思っておりますので、またよろしくお願いしたいと思います。 年度当初でありますので指定校自体はこうして示されたわけですが、八幡市として最も注目されている、どれもこれもだと言われたらそれまでなんですけれども、重点的に特に今年は特に何を狙っておられているんでしょうか。もしお聞かせいただけるようであればお願いしたいと思います。
[渡 邊 次 長]	八幡市として一番課題になっているのが不登校支援と考えております。スペシャルサポートルームという形で中学校4校に非常勤講師を市費で派遣していただいておりますのでそれを活用して子どもの居場所を作る、学校と家庭のつながりが持てないというような状況がゼロになるというような形で支援を進めていきたいということで、今は不登校がメインと考えております。
[教 育 長]	次に、(2)「令和6年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数（市独自速報値）について」、事務局より報告願います。こども未来課。 (2) 令和6年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数（市独自速報値）について
[高 橋 課 長]	令和6年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数について報告申し上げます。お手元の資料2をご覧ください。この表は前年度の数値を括弧書きしております。 幼稚園でございますが、公立幼稚園の園児総数は203人で昨年の167人より36人増加しており、前年比121.6%となっています。なお、やわたこども園の保育園部分の78人と有都こども園の保育園部分の47人が含まれた人数となっています。それを除くと公立幼稚園の総数は78人で、昨年の111人より33人減少し、前年比70.3%となります。各園の詳細は表のとおりでございます。 また、表には掲載しておりませんが私立の幼稚園(こども園)の市内に在住する園児の総数は471人で、昨年が528人でしたので57人減少し、前年比89.2%の状況でございます。 次に小学校でございますが、小学生の総数は2,995人で昨年の3,126人より131人減少し、前年比95.8%となっております。各小学校の詳細は表の通りでございます。 最後に中学校ですが、総数は1,643人で昨年の1,619人より24人増加し、前年比101.5%となっております。各中学校の詳細は表の通りでございます。
[教 育 長]	ただ今の報告事項について委員から特に質問はないということですが、子どもたちが減ってきているのはこの表を見ても分かるかなと思っておりますので、また今後検討していかなければならないかなと思っております。 次に(3)「令和6年度放課後児童健全育成施設入所の児童数について」、事務局より報告願います。こども未来課。 (3) 令和6年度放課後児童健全育成施設入所の児童数について



[高 橋 課 長]	令和6年度放課後児童健全育成施設入所の児童数についてご報告いたします。資料3をご覧ください。 令和6年5月1日現在の入所児童数につきましては、1年生244人、2年生238人、3年生162人、4年生98人、5年生46人、6年生10人、合計798人となっております。 令和5年5月1日現在と比較しますと、八幡小学校内は3人、竹園児童センターは10人、橋本児童センターは2人、南山小学校内は2人の増加となっております。入所児童数全体としては12人減少している状況でございます。
[教 育 長]	ただ今の報告につきまして、委員からご質問等はございませんか。
[狩 野 委 員]	利用者がとても多いんだと思います。施設と利用者の割合とか、これだけたくさんの利用者があって施設の中で安全に楽しく過ごすことができているのかどうか。見に寄せていただいたらいいんですが、なかなか足が向いておりません。本当に合っているのか、十分保障できているのかという辺り、教えていただけたらありがたいです。
[高 橋 課 長]	施設によって定員と入所している児童数は状況が結構異なるんですけれども、多いところというのが表で言いますと上の4つになってきます。八幡小学校だったら八幡こどもセンターが併設してありますのでそこを上手に使いながら、他の小学校だったらグラウンドがありますので時には外で体を動かしたりとか、そういった形で対応しているところです。 職員についても、中には支援が必要な子や気を付けなければならない子もいたりするので、通常だったら40人で2人体制ですが、加配と言いますか人数を増やして対応している状況です。
[教 育 長]	次に(4)「令和6年度八幡市立保育園の園児数について」、事務局より報告願います。子育て支援課。
(4) 令和6年度八幡市立保育園の園児数について	
[成 田 課 長]	令和6年度八幡市立保育園の園児数についてご報告いたします。お手元の資料4をご覧ください。 公立保育園の在園児数について、こども家庭庁の園児数調査の基準日である4月1日時点の数値で申し上げますと、南ヶ丘保育園が53人、南ヶ丘第二保育園が59人、わかたけ保育園が145人、合計で257人となっております。前年度から全体で12人の増加となっております。なお、資料には記載しておりませんが、民間保育園の園児数は5園合計で561人となっております。前年度から全体で6人の減少となっております。
[教 育 長]	ただ今の報告事項について、委員よりご質問等はございませんか。
[狩 野 委 員]	4月1日現在ということですので、また変動があるのではないかなと思います。昔からですけれども特に乳児が産休明け等で年度内に増加していくというような現状が、今も続いているのではないかと思います。そういう対策というか園児数に対して職員が必要ですよ、その辺りは既に配慮されているのかどうか。どのあたりまで人数を見込まれているのか、その辺りも含めて教えていただけたらありがたいかなと思います。
[成 田 課 長]	保育園では毎年、年度途中の入園がそこそこございます。公立園の場合は正職・月額会計年度任用職員以外にも乳児担当をする時間額会計年度任用職員を配置しており、あらかじめ年度後半に向けて増えてくる途中入園児にも一定対応できるような仕組みを構築しております。特に南ヶ丘両園で言いますと毎年年度途中の入園が非常に多くなってきます。多い年であれば年間20人くらい増えたりするような時期もございました。このような場合でも八幡市ではできる限り途中入園を受けられるように、人の配置も含めクラス編成とかも検討しながら進めているところです。
[狩 野 委 員]	待機児童はとにかなしというような状態でいける予定なんですね。
[成 田 課 長]	はい、あくまで国定義の。ただ例えば特定の保護者が特定の施設を希望する、たまたまそこは入れないけれど近くの保育園なら案内できるという場合でも、保護者が希望する園の空きを待つという場合は待機児童にはカウントしないことになっています。実際、年度後半になるとそのような保護者も一定出てくる状況です。



[狩 野 委 員]	待機というか、どうしてもここに入れたいという保護者の方が、例えば新年度まで待たれますよね。その場合はほぼ入れるんですか。
[成 田 課 長]	そうです。近年の状況を見ていますと皆さん4月1日入園では第一希望の園に入所していただいている状況です。
[教 育 長]	他はよろしいですか。次に（５）「小学校水泳指導業務委託について」、事務局より報告願います。学校教育課。
[家 村 課 長]	（５）小学校水泳指導業務委託について 小学校水泳指導業務委託について報告させていただきます。お手元の資料５をご覧ください。老朽化が進んでいる小学校プールの改修費用等の削減や、児童の泳力向上、指導時の児童の安全確保、プールの維持管理、指導における教職員の負担軽減が図れますことから、小学校水泳指導業務委託を試行的に実施することとし、令和５年度に最もプールの老朽化が進んでいくすのき小学校で実施、お手元の資料５にお示ししておりますとおり、令和５年度の受注者は、コナミスポーツ株式会社、契約金額は４３０万３，８９０円でした。水泳指導事後アンケート、水泳事業に関するアンケート（教員用）の結果では、児童、教員とも多くの肯定的な意見を得ることができました。 令和６年度は、昨年度の試行的実施を受けて、くすのき小学校及び八幡小学校で水泳指導業務委託を実施することとしています。くすのき小学校においては、受注者グンゼスポーツ株式会社京都八幡、契約金額は３８８万４，４００円、八幡小学校においては、受注者コナミスポーツ株式会社、契約金額は３３７万８，５１０円、資料５にお示ししております日程、指導時間で実施することとしています。
[教 育 長]	ただ今の報告事項について、委員よりご質問等はございませんか。
[狩 野 委 員]	昨年度くすのき小学校で実施されて、バスの駐車問題等がちょっと課題として上がっていたかなと思います。今度グンゼスポーツの方に行かれますと、そういうものも随分解消されるのでしょうか。教えていただけたらありがたいです。
[家 村 課 長]	グンゼスポーツはかなり大きな駐車場やムサシと併設されておりますので、その辺は問題ないと聞いております。
[教 育 長]	他にご質問等ありませんか。
[佐 野 委 員]	アンケートを見ていてやってよかったという声があり、実施してよかったなと思います。受注者の金額が書いてありますけれど、バスは市のバスですか、民間委託ですか。八幡小学校は徒歩で行くんですね。その差はプール同士何も言われてないんですか。その辺がちょっと。
[教 育 長]	金額の問題ですか。
[佐 野 委 員]	はい、金額の問題です。
[教 育 長]	金額は受託金額だけど、要はバスの金額は入っているかどうかも含めてということですね。
[家 村 課 長]	送迎のバス代は含んでおりません。あくまで水泳指導の業務委託の契約金額です。
[佐 野 委 員]	今年くすのきと八幡ですが、来年度からまた増える予定は。確証は。希望はあるかと思うんですが、いかがなもんですか。今の状態では。
[家 村 課 長]	今年度２校の状況をまたアンケート等取らせていただいたうえで、今後予算編成の時点で判断していきたいと考えております。
[佐 野 委 員]	希望の小学校は出てきていますか。まだそれは取られていないんですね。うちもやりたいという。名前は出ていないということですね。
[家 村 課 長]	そうです。
[教 育 長]	他にご質問等ありませんか。
[橋 本 委 員]	基本的な確認ですけど、アンケートによれば非常に好評であると、これは結構なことだなあと。学校のプールを使うのに比べて費用対効果として、こちらの方がいいというような点は金額的な点で見て明らかなんですね。このへんはまだクエスチョンマークなんですか。
[辻 部 長]	以前も金額的なものを試算したことがあるんです。学校のプールは堅牢というか耐久年数



	が長くて。フィルターとか消耗品はともかく、メンテナンスをして使っていくのと委託してやるのと、その時はどっこいどっこいの計算でした。くすのき小学校をやらせてもらったのはプールの老朽化がかなり激しかったということで、ここは近々にやらなければならないんだ、やろうということでやらせてもらって。実際やってみると先生・保護者からの評判も良いというような状況であります。また市の行財政検討審議会からも指摘事項のところに、市の施設の中で使用頻度が低いものについては、委託であるとか廃止するなりを検討すべきという答申が出てきまして、そこで挙げられていたのが学校のプールということもございまして、昨年度くすのき小学校から委託業務を始めさせていただいたところです。
[橋 本 委 員]	くすのき小学校のプールについては廃止と。別の用途に活用するというのを今後検討されるんですね。防火用水みたいな感じのを検討されるということなんですね。
[辻 部 長]	そういう役目を担っているところもございます。プールの撤去となるとコンクリートの塊でするので、かなり費用が掛かります。その辺はちょっと慎重に検討しなければならないなと考えています。
[教 育 長]	他はよろしいですか。次に（６）「令和６年度八幡市教育支援センター事業方針について」、事務局より報告願います。教育支援センター。
[安 達 所 長]	（６）令和６年度八幡市教育支援センター事業方針について 八幡市教育支援センター所長の安達でございます。令和６年度の八幡市教育支援センターの事業方針について、報告いたします。お手元の資料６をご覧ください。 教育支援センターでは、以下の３点の事業を実施いたします。 まず、「教育相談」についてです。市内在住の保護者の方や各学校から、様々な課題について電話または来所にて教育相談を受けます。定期的な相談を申し込まれた方については、カウンセラーによる予備面接を経て、受理会議で龍谷大学のスーパーバイザーによる助言も得て正式に受理し、カウンセリングまたはプレイセラピーを実施しています。不登校児童生徒が通います教育支援教室「さつき」に通室している児童生徒も、必要に応じてカウンセリングまたはプレイセラピーを受けます。各学校や教育関係機関とも連携しながら相談活動を進めています。 次に、「不登校解消に向けた取組」についてです。八幡市の大きな教育課題であります不登校の解消に向けて、毎月各校の不登校の状況を把握し課題分析を行います。学校や関係機関と連携しながら、不登校の未然防止や早期発見に取り組んで行きます。また、不登校になった児童生徒については、教育支援教室「さつき」にて支援を実施します。課題に応じて小集団での指導や個別の指導をきめ細かく行って参ります。さらに、今年度も京都府の「不登校児童生徒支援拠点整備事業」により、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー、心の居場所サポーターが教育支援センターに配置されます。これらの人的配置も活用しながら教育支援センターの機能強化を図って参ります。今年度より４中学校にスペシャルサポートルームが設置されましたことから、教育支援教室「さつき」や不登校児童生徒支援拠点整備事業との連携も大切にしていきたいと考えております。 最後に「特別支援教育」についてです。障がいのある児童生徒の日々の指導について、担当指導主事が各校の授業研究や通級指導教室の運営、指導内容について指導助言を行います。また、関係機関との連携のもと、障がいの状態に応じた教育相談を進めるための指導助言も行っています。 以上、教育支援センターの事業方針について、概要ではありますが報告をさせていただきました。八幡市の不登校に対応するために、本年度も職員一同尽力して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
[教 育 長]	ただ今の報告につきまして、委員からご質問等はございませんか。
[狩 野 委 員]	最近の傾向として、不登校児童の低年齢化が進んできているということを伺ってるんですけど、八幡市においてはどのような感じなのでしょう。
[安 達 所 長]	八幡市におきましても同じ傾向を持っていると見ております。少しずつではございますが小学校の小さい学年からの不登校が見られるようになってきている現状がございます。



[狩 野 委 員]	その背景にはどのような問題があると把握されているのか、教えていただけたらありがたいです。
[安 達 所 長]	不登校の背景・要因につきましては、多様でございますので一概にこれであるということとは言えないんですけれども、全体的なアンケートの結果等を見ますと親子関係や本人の不安が大きいといった理由が大きな割合を占めているとアンケート結果を読み取っています。
[教 育 長]	今年各中学校にスペシャルサポートルームが開設されましたので、それとの連携も支援センターの事業方針としてきちっと位置付けてますので、この辺りはまた教育委員としても見に行くことがあるかと思いますので、その時にでもぜひ見ていただいてご意見いただけたらなと思います。
[橋 本 委 員]	他によろしいですか。 同じような要望ですけれども今日も学校訪問させていただいて、カウンセラーの必要性をかなり訴えられておられました。いま週に1回なんだけど、もう1日2日来てもらってもとおっしゃっておられました。これは幼稚園ですけれども、時間は10時から3時でしたかな。他の小・中学校についても学校によっては同じようなニーズをお持ちかと思います。不登校は何が原因かというのがなかなか特定できない、非常に難しい課題であるが故に八幡市としても今年度の重点だと最初の方におっしゃいましたが、力を入れてスペシャルサポートルームを新設されましたので、ぜひその辺りの持てる人材・施設・ICT活用なんかもさらに研究されて不登校が減りますようにご尽力いただきますよう、よろしくお願いいたします。
[教 育 長]	他はよろしいですか。次に(7)「第八回徒然草エッセイ大賞について」、事務局より報告願います。生涯学習課。
[辻 課 長]	(7) 第八回徒然草エッセイ大賞について 第八回徒然草エッセイ大賞について、ご報告いたします。資料7をご覧ください。 今回のテーマは「はじまり」であります。昨年はコロナ禍という事態が終息し、今年は心機一転、未来へむけた新鮮で瑞々しいテーマを設定しました。新たに何かが始まる時、期待と不安にワクワク、ドキドキします。ときに「はじまり」は、あとから気づくもので、いつ、どこで、どう始まったのかを問いかけながら物語を紡ぎます。様々な「はじまり体験」を問いかけるテーマとなっております。 受賞式でございますが、令和7年3月15日(土)石清水八幡宮清峯殿にて開式を予定しております。
[教 育 長]	ただ今の報告に何かご意見、ご質問等はございませんか。
[狩 野 委 員]	去年ちょっと参加できなかったんですけれども、本当に素晴らしい取り組みで、たくさんの方が応募されて豊かな感動する作品が多いかと思います。また、八幡市でこういうことをやっているということを広く全国に対して発信していただいて、さらに中身の濃いものになっていくことを願っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
[教 育 長]	他に何かご質問、ご意見等ありませんか。
[橋 本 委 員]	この徒然草エッセイ大賞は、非常にお金をかけて有名人を呼んで宣伝もやってということで、その甲斐あって海外からの応募があったとお聞きし、非常に喜んでいるところであります。また、八幡市の小・中学校においては多大なるご協力を得て多数の作品を提出されて、その成果を上げているというふうに作品を読むにつれて感じてきております。これは本当にどういふんでしょうかね。日常の生活を捉えて、そして深く自分を見つめ直し、そして前に進んでいくという自分の生き様を外に晒すというんでしょうか。自分の内面に深く入るようなテーマを毎回設定されて、その作品の中身・深さにつながっているというふうに思います。こういったものが多くの子どもたちが参加してできあがって賞が与えられて、素晴らしい作品がみんなに紹介されるところがだいぶ伝統的に積み上げられてきていると思うんですけれども、この作品を後に活かす、学校教育に返すというふうな取り組みについては、どういふふうになっているんでしょうか。
[辻 課 長]	教育現場の方には夏休み前に一定指導を入れていただいております、宿題として出していただ



[教 育 長]	いているというのを聞いております。夏休みに様々な体験をしますから、その出来事をまとめるという取り組みの一環として、基本的な子どもたちの資質能力を育むために学校として真摯に取り組んでいただいているというのも現状として伺っております。 冊子を綺麗に作ってくれますので、学校現場としては図書館にその冊子を何冊かずつ置いています。子どもたちにはすぐ手に取れるところに徒然草エッセイ大賞の冊子があるような状況になっていますので、その辺でいろいろと子どもたちは参考にしながら先輩方・同年代の作品を読みながら、いろいろ感じていることはあるのかなと思っています。そういう周知については各学校全て行っている状況です。
[橋 本 委 員]	青少年主張大会。あれも発表された後、次長から非常に内面に迫るようなコメントを多くの聴衆の前でされているんですね。聴衆は「ああ、なるほど。素晴らしいな。」というふうに、みんなが発表の素晴らしさに感動して、そしてお帰りになる。こういう非常に素晴らしい体験を毎回させていただいています。エッセイ大賞についても非常に素晴らしいゲストが素晴らしいコメントをされているんです。ものすごく深いコメントをされています。ああさすがだなと思いながら、やはり同じような気持ちをもって私は帰るんですけども、多くの作品が小・中学校から出ているにもかかわらず、おそらく賞には入らない作品もたくさんあると思うんです。そういったものを何かコメントをされて、これは難しいことだと思うんですけども、全てについてとは申しませんが、学校単位でも何か自分の日常生活を捉えて思ったことを深く自分の中から掘り出して、そして作品にしたという、この何と言うのか機会を捉えて深い学びというのか、次の前向きな日常生活に返せるようなものができていたらなあ。まあされているんだろうと思うんですけども、私には分からないので、こんなことがあったのか、こんな大変なことがあったのか、はっと思いますよね。その後どうなっているんだろうか。この子にこの作品に対してどうなっているんだろうかと非常に心配な思いもありますし、これ書いたんだったらこういったことを言ってあげたいな。応援してあげたいな、こういうコメントをぜひこの子には伝えたいなと何か思ってしまう部分があるので、今のような質問をさせていただきました。またよろしく願いいたします。
[教 育 長]	他はよろしいですか。次に（８）「第三回松花堂昭乗イラストコンテストについて」、事務局より報告願います。生涯学習課。
[辻 課 長]	（８）第三回松花堂昭乗イラストコンテストについて 第三回松花堂昭乗イラストコンテストについて、ご報告いたします。資料８をご覧ください。 今回のテーマは「幸せ」であります。皆さんはどのような時に幸せと感じるでしょうか。何気ない日常の中にある小さな幸せや、大切な人たちとの特別な瞬間をイラストで表現していただけるテーマを設定しました。美味しいものを食べたとき、友だちと過ごす楽しいとき、頑張って目標を達成したときなど、日常の中には数え切れない“幸せ”が溢れています。自由な発想で、あなたならではの“幸せ”を描かれ、見る人の心が動く素敵な作品が生まれることを期待したテーマとしております。 受賞式でございますが、令和７年３月１日（土）松花堂庭園・美術館にて開式を予定しております。
[教 育 長]	ただ今の報告に何かご意見、ご質問等はございませんか。
[狩 野 委 員]	質問ではなく感想なんですけれども「幸せ」について、いろいろとテーマ設定に至る理由とか内容を聞かせていただいて、目じりが下がってくるなと感じました。本当にたくさんの方が小さな幸せを大事にして、それをイラストにして発信してくださるというのは後々また見せていただく時の大きな楽しみになるなと思います。昨年度も受賞式にご家族で遠いところから車で来られていましたよね。関東の方、千葉県からでしたか。そういうふうにご家族で一緒になって八幡市まで足を運んで受賞式に参加してくださる方もいらっしゃいましたので、こちらもどんどん盛況になることを願っております。また発信の方、どうぞよろしくお願いいたします。
[教 育 長]	他はよろしいですか。



[佐 野 委 員]	去年から松花堂昭乗イラストコンテストに私たちも初めて見せていただけることになって、参加させていただいて受賞式に行かせてもらいました。小学校も中学校も高校生もタブレットで書きましたとか、普通の画用紙に絵の具で鉛筆でとか、いろんな出し方があるんだなと。どれでもがイラストコンテストに出せるんだなというのを、生で見れてよかったなと思います。今時ですよ、タブレットで絵を描けてっていう。これだから出せたっていう女の子が賞をもらわれて、すごく自信につながった子がいたので、ちょっとそういう手助けにもなる、こういうコンテストって小さな市町であっても目に留まってやってくれることが、一人でも違う道を見つけてあげられる手助けにもなったんじゃないかと感じました。さっきのエッセイ大賞と同じですが、生涯学習課の方は選考等忙しいかと思います。たくさん応募いただいて忙しいのは大変ですけど喜ばしいことなので、またよろしく願いいたします。
[教 育 長]	他に何かご質問、ご意見等ありませんか。
[橋 本 委 員]	あのイラストはみなさんおっしゃる通りで、私もスポーツと同じように芸術も並行してバランスの取れた教育を進めていただきたいなと思います。こだわっているのは松花堂昭乗さんですよ。私なんかは非常によく知っています。多くの方は知っておられると思いますが、子どもたちにこの松花堂昭乗はどの程度宣伝されているのか。どういう人物なのか、八幡とどういう関係があるのか、なんでイラストと結びつくのか。この辺りはしっかりと説明をしていただきたいなと思います。松花堂昭乗というのが八幡市の一番の売りとしてもっともっと広めてほしいなと思っているところがありますので、ぜひその辺りもお願いしたいなと思います。
[辻 課 長]	第一回目の時に松花堂昭乗とは何ですかというお問い合わせがございました。タイトルが松花堂昭乗から始まってますから、みなさん松花堂昭乗の絵を描くのかなという誤解がありまして。そこを焦点に充てて、松花堂昭乗さんのように楽しく絵を描いていただくことのコンテストですよというのをチラシに盛り込みました。今回第三回目となりまして、そちらの誤解を生まないようにチラシの方を工夫しております。またみなさんにチラシを配布いたしますので、どうかご覧いただければと思います。
[教 育 長]	かなりチラシは工夫してくれています。面白い感じで作ってくれているので、またうちの方にも配ってください。 他はよろしいですか。ないようですので、これにて2. 報告事項を終結いたします。次に3. 議題に入らせていただきます。(1)「社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について」を議題といたします。事務局より説明願います。生涯学習課。
[辻 課 長]	3. 議 題（協議事項）
	(1) 社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について
	社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について、ご提案させていただきます。資料9をご覧くださいたく存じます。
	本委員の任期はいずれも2年で、現在ご就任いただいています方々の任期は令和7年6月30日までとなりますが、所属団体の役員交代に伴いまして選出の委員に変更が生じたので、本委員会にてご承認をお願いするものです。
	これまで学校代表としてご就任いただいております羽野 豪（はの たけし）氏が3月31日付けで退職されたことに伴い、新たに4月1日付けで校長会会長に就任されました前野 あゆみ（まえの あゆみ）氏を本委員に推薦したい旨の申出がありました。
	つきましては、前野氏を社会教育委員及び公民館運営審議会委員に委嘱することをご審議いただき、ご承認賜りますようお願い申し上げます。
	なお、本日ご承認いただけたら、3月31日付けで羽野氏を解任し、4月1日付けで前野氏に委嘱状を交付いたします。任期は、前任者の残任期間である令和7年6月30日までとなります。
[教 育 長]	ただ今の議題につきまして、委員よりご質問等はございませんか。
[狩 野 委 員]	一つだけよろしいですか。すごく些細な質問なんですけれども、社会教育委員長さんっていらっしゃるんですよね。どなたがされているのでしょうか。



[辻 課 長]	名簿の2番目に記載されている藤原様です。
[教 育 長]	他に何かご質問、ご意見等ありませんか。無いようでありますので、議題（１）についてお諮りいたします。議題（１）について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。
[全 委 員]	異議なし。
[教 育 長]	異議なしと認め、議題（１）社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱については原案のとおり決定します。これにて議題を終結いたします。
[狩 野 委 員]	次に、４．その他に入らせていただきます。本日の「園・学校訪問について」ご意見はございますか。
	４．その他
	本日はさくら幼稚園と中央小学校に寄せていただきました。さくら幼稚園は遊戯室と保育室を綺麗にされて、本当にピカピカ光った素敵な遊戯室に変身したなっていう、床を変えるだけでこんなにもまたさらに明るくなったなと感じています。いろいろ老朽化してきておりますので、そのようにご配慮いただけることはありがたいことだと思っております。さくら幼稚園の遊戯室から周りを見ていますと本当にいい立地条件で、すごくいい所にある。教育環境としても本当に恵まれているなと思います。
[狩 野 委 員]	ただ残念なのが最近保護者がどうしても園を選ばれますので、送迎がなかなか難しくなってきたというように感じます。さくら幼稚園の方では前にさくら公園の駐車場がございますけれども、そこは利用できないということで、苦情の電話もすぐかかってきますと園長先生がおっしゃられていました。最近、新聞広告等に私立の幼稚園の体験をしてみませんかみたいなものも入ってるんですけど、やはり世の中のニーズで駐車場、車で送っていいのかという。送迎バスがあれば別ですけど、送迎バスがない中で駐車場の確保というのがすごく重要になってきているなと痛感しております。本当に園は保護者の方が選べますので、やっぱりなるべく保護者負担を減らすためにも、そういうことにも配慮していかないとどんどん園のニーズが減っていくかと思えます。大抵は送迎バスがあって、給食があってっていうような園がたくさんある中で、私自身は保護者の送迎はこの時期しかできない親と子が一緒になって歩く様子は微笑ましいし、他園は指定かばんを持っていますのであそこの幼稚園に行くんだなと思いながら、保護者が一緒に子どもさんと歩いている様子を微笑ましく見るんですけど、なかなかそれに応えられるだけの保護者の力量が減ってきているかなと思うんです。今後、駐車場の確保というのは一つの大きな問題になるのではないかなと思うので、ご検討の方お願いしたいなと願っております。
	園長先生も異動してこられて、こういう園づくりをしたいという抱負でいっぱいでした。全ての子どもを全ての先生みんなで見るという方針でやっていこうとされています。そういうことも本当に素晴らしいことだと思えますので、幼児期の教育ってとても難しいですし、そこら辺も先生方の思いを大事にしながら今後ますます質の高い保育になるように子育て支援課としてもいろいろとバックアップをお願いしたいなというふうに願っております。
[教 育 長]	プレ保育が９月から始まるということで５月の広報にも出ておりましたけれど、まだまだあの程度ではなかなか周知が難しいのではないかと思います。子育て支援課としてさらに何か発信をして、京都府初の公立幼稚園でのプレ保育をするんだということを前面に出して保護者の方に周知していただけたらニーズも益々増えるのではないかと思います。今日園長先生がおっしゃられてましたけれど、新しいことをするからワクワクするんです、どんな風にしていこうかということで、期待と意欲をすごく持ってこの事業に取り組もうとされています。保育園に見学に行ったりとか、子育て支援センターにも行ってというふうに随分学ばれようとしておりますので、そういう未就園のお子さんの保育についてまた学ぶ機会というのも保障していただけたらありがたいなと思います。まずは駐車場問題を何とかご支援いただけたらなということを願います。
[橋 本 委 員]	他にありませんか。
	さくら幼稚園は外国人籍の方が非常に多い、減ることはないだろう、これから増えていく



と。これは八幡市の環境もあるかと思います。その際いつも問題になっているのがコミュニケーションということで、もちろん英語圏以外の方がほとんどでありますので、今はポケットトークですか、渡しておられるのは。機能がどんどん今は充実してきておりますので、即多言語に翻訳できる、翻訳の精度も非常に上がっておりますので、ぜひそういったバージョンアップというんでしょうか、そういったものができるようであればお願いしたいなと思います。

ただ外国人と対応するには言葉だけの問題ではない。やはり宗教とか文化とか、もちろん個に対応しますから、個別にみな違うというふうなこともございます。園の目標にインクルーシブという言葉がありましたよね。多様な、困難な、支援を要する子どもも多い中で、外国人籍もその一つであるということで、園内の中ではそういうインクルーシブ、みんな協力してチームでと。一人の先生が対応するのではなく、みんなでカバーしてということもおっしゃってました。しかし、私も申し上げましたが園内だけでは無理であって、いろんな大人が関わらないと子どもたちは育たないんだということもあります。幼稚園だけではなくて小・中学校も含めて外国人が増えてくる環境がございますので、コミュニケーションについてはそういうツールとしてのポケットトークというんでしょうか、こういったもののバージョンアップを。より適切なそういうものがあれば、そういうものが現場に行き渡るようにお願いしたいということと併せて宗教・文化・様々なものへの対応する国際化ですよ要は。こういった面での教師の力量というんでしょうか、こういったものの研修を改めてインクルーシブという言葉聞くにつけて、不登校もそうですが感じたところでありますのでよろしく願います。

中央小学校では講師の先生、特に英語。教科担任をやる英語の先生が見つからないと、去年もおっしゃっていたようであります。なんで英語みたいな大きな教科、多くの方がおいでになるはずの英語という教科でそういう講師が見つからないのか。これは何なんでしょうね。そうしたら小さな教科はもっと大変だろうかと、非常に心配をしているところなんです。これ毎回継続の問題かと思いますが、講師の確保につきましてぜひご要望に応えられるようにご尽力お願いしたいと再度お願いしたいと思います。

他はいかがですか。

さくら幼稚園に久しぶりに行かせていただきました。園長先生もクラスの名前も園名も変わって、すごく張り切ってやってらっしゃいました。元々元気な園長先生なので、できたら子育て支援課の方も園長先生の体調等のメンテナンスを見ていただけたらどうかと。疲弊しないように。すごく意気込んでらっしゃって、ワクワク感がすごく伝わったんですけど、本当に体を壊さないかなという部分がちょっと見受けられたので、心配しているところです。チラッと個人的に見ていた中でそこがすごく目に付いてしまいましたので、またよろしく願います。

園自体も良かったのか悪かったのかですけど、10人以上の園児がわーっと騒いでいる幼稚園というのを久しぶりに感じさせていただいて、幼稚園ってこういうもんやなというのを見させていただきました。こういうふうな幼稚園の環境で子どもたちが育っていくのはいいことなんだと、つくづく見せてもらって感じました。

中央小学校なんですけれど校長先生も初めてまた現場に戻られたということですが、一番最初に言われたのが1年生の女の子が着替えをするのが恥ずかしいという部分で、ちょっと引っ掛かりみたいなのがあったので、時代に沿って低学年でも高学年でも関係なく1年生ぐらいからもう男女でそういうのもあったり、ジェンダーレスみたいなことも考えていかなあかんような地域なのかなと報告の中から見受けられましたし、幼稚園も中央小の先生も子どもたちを見ながら先生たちの指導もやっていきたいという思いが、園長先生も校長先生も見受けられました。だから先生たちも育てながら、子どもたちと一緒に学年関係なく見て育てていきたいなという意気込みを今日行って感じましたので、それがうまくいくことを願っていますので、また教育委員の方も見ていただけたらと思いました。

他はよろしいですか。

[教 育 長]

[佐 野 委 員]

[教 育 長]



[狩 野 委 員]	学校訪問ではないんですが、よろしいでしょうか。市民図書館に関する件です。 先日、図書館に行きましたら今度は八幡高校の生徒さんのポップが展示されておりました。また高校生になると違うなと思って、しばらく眺めさせていただきました。中学生であったり高校生であったり、生徒さんがああいうふうに少しでも本に触れられるような機会を、自分の作品ができるような機会を作ってらっしゃるのはすごくいいなと思います。今後またどのような計画をされているのか、あれば聞かせていただけたらなと思って。
[小 坂 館 長]	高校につきましては、もう8年目ぐらいになっています。北キャンパス・南キャンパスと八幡・男山図書館の4つでポップを2か月ずつ回すという形で見てもらっています。お薦め本について学生に書いてもらって、八幡でしたら中の参考室で本と並べています。そうやってお薦め本という形で子どもたちが書いたポップを来館者が見て、それを借りて帰られるということもあります。子どもさんにとっても読書感想文ってすごくつらい宿題だと思うんですが、それを絵や文字にして自分の思いを伝える作業に取り組んでいる時は楽しんでやっていると聞いていますので、高校については継続して今年度もやります。 中学校の方も令和5年度から男山第二中学校でさせていただきます、それに合わせて授業もさせていただきます。それを見た男山東中学校の保護者や先生方から東中もということで、図書館が遠いのでまず移動図書館車を配車し本に慣れていただきました。今年度につきましては男山第三中学校・男山東中学校、男山第二中学校での取り組みが決まっています。あと男山中学校も何か図書館との交流をということで、いま打ち合わせをしている最中です。4つの中学全部がお薦め本をポップフェスという形で取り組んでいただいて、図書館と学校を巡回する形ができればなと思っています。 小学校についても橋本小学校が今年から3年間読書の指定校になるということで、いま相談を受けているところです。どんな形で交流ができるのか、何か図書館として支援できることがあればということで、30日に打ち合わせをする予定です。
[狩 野 委 員]	子どもたちが1冊でも多くの本に触れて、心弾ませる経験が豊かになっていくことを切に願っておりますので、ぜひ図書館としていろいろとご協力していただけたら嬉しいなと思いますので、よろしくお願いします。
[教 育 長]	他はよろしいですか。それでは4. その他を終結いたします。次に配付資料について事務局より説明願います。こども未来課。
[高 橋 課 長]	5. 配付資料 本日の配付資料は、4月分の議事録写しをお届けしています。
[教 育 長]	次に定例教育委員会の日程につきまして、事務局から説明願います。こども未来課。
[高 橋 課 長]	次回定例教育委員会は6月17日月曜日午後3時から庁舎3階教育委員会室で行います。学校訪問は、10時から有都こども園、11時30分から有都小学校となっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
[教 育 長]	6. 閉 会 今のよろしいですか。あれやったら会場もちょっと。これだけの人数になってくると、また考えることもあるかもしれません。他に何かございますか。以上をもちまして、5月度の定例教育委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

令和6年度研究指定校等について

研 究 指 定 校 等	
令和6年度 文部科学省指定	
◆ 学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業 (市内全小・中)	
令和6年度 京都府教育委員会	
◆ 京都式「学力向上教育サポーター」事業(まなび・生活アドバイザー配置) (八幡小、くすのき小、中央小、男山中、男山第二中)	
令和6年度 京都府教育委員会	
◆ 特別支援教育充実事業 (さくら小・中央小・南山小・男山中、男山第二中)	
令和6年度 京都府教育委員会	
◆ 特別支援学級の授業づくり～自立活動の指導を軸に～ (男山中)	
令和6年度 京都府教育委員会	
◆ 食に関する指導充実事業 (八幡小)	
令和6年度 京都府教育委員会	
◆ 不登校児童生徒支援拠点整備事業 (教育支援センター)	
令和6年度 山城教育局	
◆ 山城地方豊かな学びをはぐくむ教科担任制研究指定事業 (橋本小)	
令和6年度 山城教育局	
◆ 山城地方学校力向上トライアル校 (中央小・男山二中・男山東中)	

令和6年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数(市独自速報値)

資料 2

幼稚園別、年齢別園児数・教員数

令和6年5月1日現在 ()内は、前年度数値 (単位:人)										
区分 園名	園数	市立 教員数	総 数		3 歳		4 歳		5 歳	
			組数	園児数	組数	園児数	組数	園児数	組数	園児数
総 数	4 (5)	38 (23)	13 (13)	203 (167)	4 (4)	55 (50)	5 (4)	79 (45)	4 (5)	69 (72)
八幡幼稚園		－ (3)	－ (3)	－ (26)	－ (1)	－ (10)	－ (1)	－ (6)	－ (1)	－ (10)
八幡第三幼稚園		－ (3)	－ (3)	－ (46)	－ (1)	－ (17)	－ (1)	－ (15)	－ (1)	－ (14)
八幡第四幼稚園		－ (2)	－ (1)	－ (15)	－ (0)	－ (0)	－ (0)	－ (0)	－ (1)	－ (15)
さくら幼稚園		4 (－)	3 (－)	40 (－)	1 (－)	8 (－)	1 (－)	18 (－)	1 (－)	14 (－)
橋本幼稚園		4 (3)	3 (3)	23 (21)	1 (1)	8 (6)	1 (1)	6 (8)	1 (1)	9 (7)
(やわたこども園)		17 (－)	4 (－)	92 (－)	1 (－)	25 (－)	2 (－)	37 (－)	1 (－)	30 (－)
(有都こども園)		13 (12)	3 (3)	48 (59)	1 (1)	14 (17)	1 (1)	18 (16)	1 (1)	16 (26)

小学校別、学年別児童数・教員数

令和6年5月1日現在 ()内は、前年度数値 (単位:人)																		
区分 校名	学校数	教員数	総 数		1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		特別支援学級	
			学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
総 数	8 (8)	225 (232)	136 (140)	2,995 (3126)	16 (17)	453 (465)	17 (16)	460 (457)	16 (19)	451 (516)	19 (18)	510 (466)	18 (19)	472 (498)	19 (21)	487 (568)	31 (30)	162 (156)
八幡小学校		28 (28)	17 (15)	388 (393)	2 (2)	63 (68)	2 (2)	67 (55)	2 (2)	53 (60)	2 (2)	60 (69)	3 (2)	73 (59)	2 (2)	56 (67)	4 (3)	16 (15)
くすのき小学校		36 (36)	23 (24)	498 (494)	3 (3)	84 (76)	3 (3)	75 (85)	3 (3)	89 (71)	3 (3)	73 (69)	2 (3)	68 (73)	3 (3)	73 (85)	6 (6)	36 (35)
さくら小学校		25 (23)	16 (16)	362 (362)	2 (2)	62 (59)	2 (2)	57 (49)	2 (2)	46 (65)	2 (2)	61 (50)	2 (2)	49 (61)	2 (2)	61 (52)	4 (4)	26 (26)
橋本小学校		32 (36)	20 (22)	530 (566)	2 (3)	70 (82)	3 (3)	83 (99)	3 (3)	99 (92)	3 (3)	91 (79)	3 (3)	83 (87)	3 (4)	86 (109)	3 (3)	18 (18)
有都小学校		15 (15)	8 (8)	119 (118)	1 (1)	22 (18)	1 (1)	18 (16)	1 (1)	15 (24)	1 (1)	24 (18)	1 (1)	17 (13)	1 (1)	13 (23)	2 (2)	10 (6)
中央小学校		28 (29)	14 (14)	260 (267)	2 (1)	41 (35)	1 (1)	33 (33)	1 (2)	34 (45)	2 (2)	43 (43)	2 (2)	43 (44)	2 (2)	44 (44)	4 (4)	22 (23)
南山小学校		23 (22)	14 (14)	239 (243)	2 (2)	43 (45)	2 (1)	44 (30)	1 (2)	28 (39)	2 (1)	39 (34)	1 (2)	34 (38)	2 (2)	37 (41)	4 (4)	14 (16)
美濃山小学校		38 (43)	24 (27)	599 (683)	2 (3)	68 (82)	3 (3)	83 (90)	3 (4)	87 (120)	4 (4)	119 (104)	4 (4)	105 (123)	4 (5)	117 (147)	4 (4)	20 (17)

中学校別、学年別生徒数・教員数

令和6年5月1日現在 ()内は、前年度数値 (単位:人)												
区分 校名	学校数	教員数	総 数		1学年		2学年		3学年		特別支援学級	
			学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
総 数	4 (4)	140 (142)	60 (60)	1,643 (1619)	15 (16)	517 (520)	16 (17)	516 (550)	17 (16)	550 (501)	12 (11)	60 (48)
男山中学校		38 (37)	15 (15)	344 (335)	3 (4)	98 (113)	4 (4)	112 (117)	4 (3)	116 (86)	4 (4)	18 (19)
男山第二中学校		32 (34)	15 (14)	387 (391)	4 (4)	117 (124)	4 (4)	123 (129)	4 (4)	130 (130)	3 (2)	17 (8)
男山第三中学校		39 (40)	16 (17)	465 (465)	4 (4)	150 (142)	4 (5)	139 (160)	5 (5)	161 (149)	3 (3)	15 (14)
男山東中学校		31 (31)	14 (14)	447 (428)	4 (4)	152 (141)	4 (4)	142 (144)	4 (4)	143 (136)	2 (2)	10 (7)

※幼・小・中の教員数(本務者)には、校長、教頭、教諭、講師及び休職者等を含みます。

令和6年度 放課後児童健全育成施設入所の児童数について

(単位:人、令和6年5月1日現在)

施 設 名	定員	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合 計	令和5年 5月1日現在
八幡小学校内放課後児童健全育成施設	100	30	36	17	11	5	2	101	98
竹園児童センター内放課後児童健全育成施設	120	42	39	28	8	7	1	125	115
男山児童センター内放課後児童健全育成施設	100	36	36	17	20	3	2	114	123
橋本児童センター内放課後児童健全育成施設	160	38	41	44	22	12	1	158	156
中央小学校内放課後児童健全育成施設	80	20	11	8	2	0	0	41	48
有都小学校内放課後児童健全育成施設	50	10	11	5	8	4	3	41	41
南山小学校内放課後児童健全育成施設	70	25	13	8	2	3	1	52	50
美濃山小学校内放課後児童健全育成施設	100	18	24	21	17	6	0	86	95
子ども・子育て支援センター内放課後児童健全 育成施設	100	25	27	14	8	6	0	80	84
合 計	880	244	238	162	98	46	10	798	
令和5年5月1日現在		253	209	164	100	54	30		810

令和6年度 公立保育園の在園児数

単位:人

施設名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	前年度	増減
南ヶ丘保育園	2	9	11	13	12	6	53	54	△ 1
南ヶ丘第二保育園	2	10	8	20	6	13	59	52	7
わかたけ保育園	6	24	24	29	30	32	145	139	6
総数	10	43	43	62	48	51	257	245	12

基準日:令和6年4月1日

小学校水泳指導業務委託について

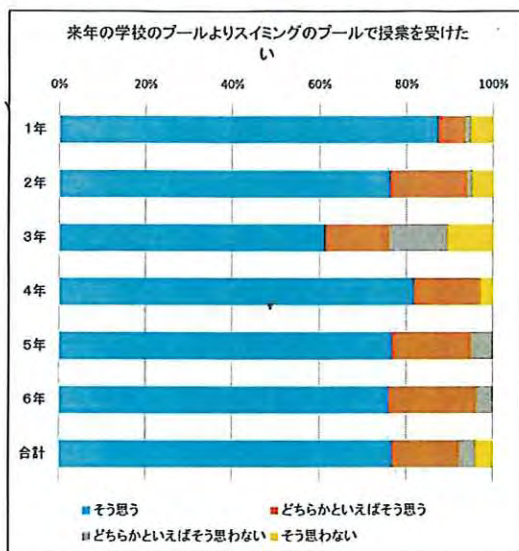
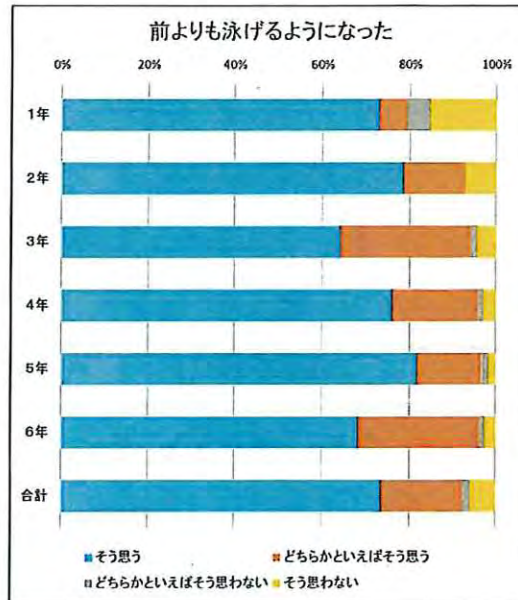
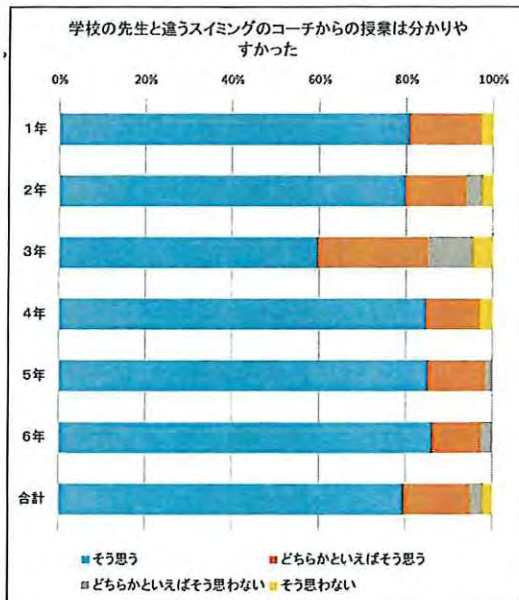
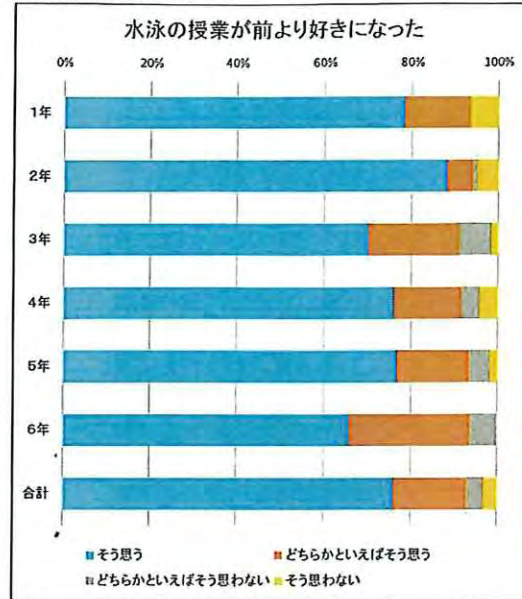
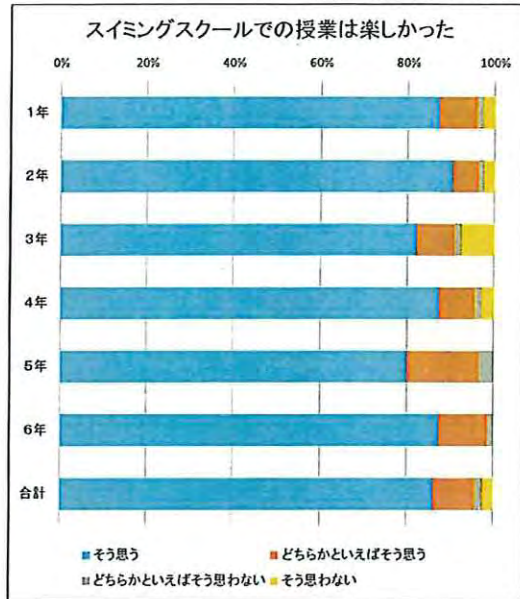
【令和 5 年度】

- ・実 施 校 八幡市立くすのき小学校
- ・受 注 者 コナミスポーツ株式会社
- ・契約金額 4, 3 0 3, 8 9 0 円
- ・移動手段 バスによる送迎
- ・日 程 3、6 年生：6 月～9 月、2、5 年生：9 月～12 月、
1、4 年生：12 月～2 月
- ・指導時間 午前 8 時 40 分～10 時 50 分、午前 10 時 00 分～12 時 05 分
(※移動時間、更衣時間含む)

【令和 6 年度】

- ・実 施 校 八幡市立くすのき小学校
 - ・受 注 者 グンゼスポーツ株式会社京都八幡
 - ・契約金額 3, 8 8 4, 4 0 0 円
 - ・移動手段 バスによる送迎
 - ・日 程 2、4、6 年生：6 月～7 月、1、3、5 年生：9 月～10 月
 - ・指導時間 午前 9 時 00 分～10 時 15 分、午前 10 時 15 分～11 時 30 分、
午後 1 時 30 分～2 時 45 分 (※移動時間、更衣時間除く)
-
- ・実 施 校 八幡市立八幡小学校
 - ・受 注 者 コナミスポーツ株式会社
 - ・契約金額 3, 3 7 8, 5 1 0 円
 - ・移動手段 徒歩
 - ・日 程 5 月 27 日～9 月 12 日 (全学年)
 - ・指導時間 午前 9 時 05 分～10 時 10 分、午前 10 時 40 分～11 時 45 分、
午後 1 時 40 分～2 時 45 分 (※移動時間、更衣時間除く)

令和5年度くすのき小学校 水泳指導事後アンケート



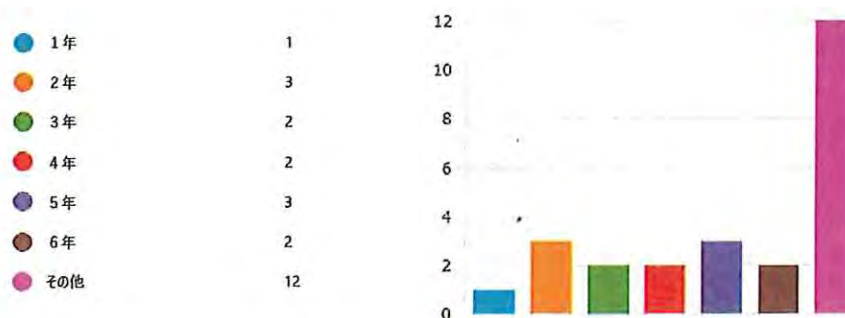
水泳授業に関するアンケート（教員用）

25 応答

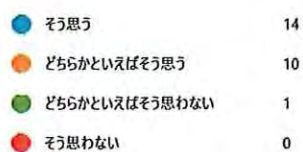
03:12 完了するのにかった平均時間

アクティブ 状態

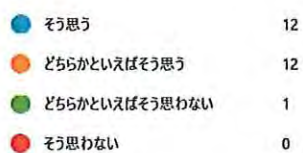
1. 担当学年



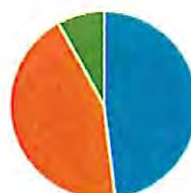
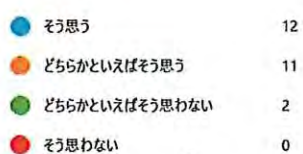
2. 民間の指導者による水泳指導により、教育効果は全体として高まった。



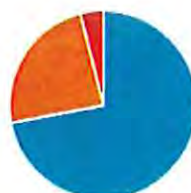
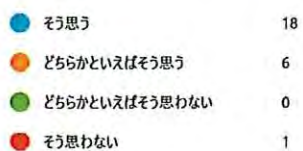
3. 民間の指導者による水泳指導により、児童の水泳の能力は向上した



4. これまでの水泳指導に比べて、児童の運動量は多くなった

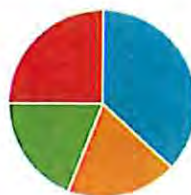


5. 水泳指導に係る負担軽減が図られた。



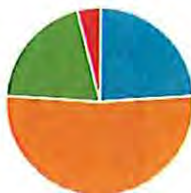
6. どのような負担の軽減が図られましたか。当てはまるものすべてを選択してください。
 その他を選択された場合は具体的にお書きください。

● プール管理の負担軽減	25
● 入水しなくてよいので身体的な負担...	13
● 児童の安全確保に係る心理的な負...	13
● 教材研修など指導に係る負担軽減	17
● その他	0



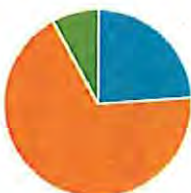
7. 例年よりも児童を丁寧に見取り、評価を行うことができた。

● そう思う	6
● どちらかといえばそう思う	13
● どちらかといえばそう思わない	5
● そう思わない	1



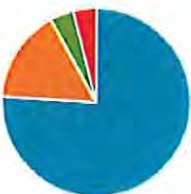
8. 民間の指導者との連携はスムーズにできた

● そう思う	6
● どちらかといえばそう思う	17
● どちらかといえばそう思わない	2
● そう思わない	0



9. 来年度も、民間のプールでの指導を継続したい。

● そう思う	19
● どちらかといえばそう思う	4
● どちらかといえばそう思わない	1
● そう思わない	1



10. 民間の室内プールでの授業への感想や意見を自由にお書きください。

25
 応答

最新の回答

"インフルエンザやコロナが流行る冬の時期は、できるだけ避けて計画していただきた...
 "これまでプールを管理することに関わるのが多い立場だったので、その部分がものす...
 "水泳を楽しみにしていた子が多かった。「泳げるようになった。」「プールは楽しい」と...

6回答者 (24%) この質問に 児童回答しました。

インフルエンザ 教師 参観 コーチ 学年
 子どもたち 人数 児童 3学期 天候 次年度
 格差 水泳学習 保護者 泳力 特別支援学級 水泳能力
 教育 2学期 学校

八幡市教育支援センターは、令和6年度八幡市教育委員会「保育・学校教育の重点」にもとづき、園・学校・関係機関との連携を強め下記の事業を実施する。

1 教育相談

児童生徒の健全な成長、発達を願い、保護者や学校から電話または来所等により相談を受ける。

相談申込みを受け、専門的な知識を有するスーパーバイザー（大学教授）の助言を得て、児童生徒及びその保護者に対してカウンセラーが、定期的にカウンセリング・プレイセラピーを行う。

また、教育支援教室に通室している児童生徒のカウンセリング・プレイセラピーも行う。

そして、相談活動を行っていく上で、各校の教育相談担当者やスクールカウンセラー等との連携を図り、より効果的な相談活動を進める。

2 不登校解消に向けた取組

本市学校教育の大きな課題である不登校の解消に向けて、不登校の状況把握及び課題分析を行い、各学校や関係機関との連携を強めるなかで、不登校児童生徒数の減少および不登校を未然に防止する取組を進める。

不登校児童生徒の学校復帰と将来の社会的自立に向けて、学校と密に連携を取りながらカウンセラーによる教育相談に加えて、教育支援教室において、通室児童生徒の課題を踏まえた小集団での指導や個別指導等、きめ細かで効果的な支援を進める。

京都府の「不登校児童生徒支援拠点整備事業」により配置されるスクールカウンセラー・心の居場所サポーター・スクールソーシャルワーカーを活用し、学校との連携をさらに進め、ICT活用も含め、教育支援センターの機能強化を図る。

今年度より4中学校に設置されるスペシャルサポートルームと教育支援教室「さつき」や不登校児童生徒支援拠点整備事業との連携を図る。

3 特別支援教育

各学校園・関係機関と連携し、障がいのある幼児児童生徒の障がいの状態等に応じて、可能性を最大限に発揮させ、将来の自立や社会参加のために必要な力を培うという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行う。

教職員の特別支援教育に関する専門性の向上に向けて、校内研修・授業研究への指導助言、特別支援学級・通級指導教室の運営・指導内容についての指導助言、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育についての指導助言を行う。

また、特別な支援が必要となる、または可能性のある児童生徒へのより適切な支援を行うために、保育園、幼稚園、こども園や小中学校、八幡市教育支援委員会等関係機関との連携を進める。

第八回徒然草エッセイ大賞について

1. 応募内容

応募期間 令和6年6月3日（月）から9月20日（金）

テ ー マ 「はじまり」

昨年はコロナ禍という事態が終息し、今年は心機一転、未来へむけた新鮮で瑞々しいテーマを設定

新たに何かが始まる時、期待と不安にワクワク、ドキドキします。ときに「はじまり」は、あとから気づくもので、いつ、どこで、どう始まったのかを問いかけながら物語を紡ぎます。様々な「はじまり体験」を問いかけるテーマ

2. 授賞式

日 時 令和7年3月15日（土）午後1時30分開式（予定）

会 場 石清水八幡宮 清峯殿 第1・第2研修室

第八回 徒然草エッセイ大賞

はじまりはいつも、ワクワクドキドキ
新しい世界へ歩み出す私たち
ときに「はじまり」は、あとから気づくもの
いつ、どこで、どう始まった？
問いかけながら物語を紡ぎます
様々な「はじまり体験」「はじまり物語」大募集！

〈募集テーマ〉

はじまり

徒然人よ、 筆をとれ。 作品募集中！

つれ づれ ぐす
徒然草と
やわた し
八幡市

人生論や失敗談、心なごむ世間話から社会批評まで、兼好法師が、つれづれなるまま、心のおもむくままに綴った、鎌倉末期の著名なエッセイ集『徒然草』。
八幡市にある石清水八幡宮(現・国宝)の参詣に臨んだが結局実現できず、「どんなことにも先輩や経験者の助言は必要」と結ばれる第52段は、とりわけ有名です。



選考委員

山極 壽一 (総合地球環境学研究所所長・人類学者) ※委員長
茂木 健一郎 (脳科学者)
中江 有里 (女優・作家・歌手)
田中 恆清 (石清水八幡宮宮司)
寺田 昭一 (月刊誌「歴史街道」特別編集委員)
川田 翔子 (八幡市長)

部門・字数・賞

一般の部 2,000字(400字詰原稿用紙5枚)以内
大賞1編(副賞20万円) 優秀賞3編(副賞5万円) 佳作5編(副賞1万円)
中学生の部 1,200字(400字詰原稿用紙3枚)以内
大賞1編(副賞1万円) 優秀賞3編(副賞5千円) 佳作5編(副賞3千円) ※副賞は図書カード
小学生の部 800字(400字詰原稿用紙2枚)以内
大賞1編(副賞5千円) 優秀賞3編(副賞3千円) 佳作5編(副賞2千円) ※副賞は図書カード

応募締切 令和6年9月20日(金) 必着

郵送・Eメール・
ホームページから
応募が可能です。

徒然草エッセイ大賞

検索

<https://www.tsurezure-essay.jp>



主催: 八幡市 八幡市教育委員会 | 共催: PHP研究所 | 協力: 石清水八幡宮
後援: 京都府 京都府教育委員会 歴史街道推進協議会 古典の日推進委員会 八幡市文化協会 (公財)やわた市民文化事業団 (一社)八幡市観光協会 八幡市商工会 八幡市工業会



【八幡市公式HP】
<http://www.city.yawata.kyoto.jp/>



八幡市



@yawata_official



@yawata_official



@yawata_official



八幡市公式SNSで、八幡市の魅力など様々な情報を発信中！

第八回 徒然草エッセイ大賞 募集要項

京都府八幡市が創設した「徒然草エッセイ大賞」は第八回を迎えます。
全国から優れたエッセイ（随筆）作品を募集いたします。今回のテーマは「はじまり」です。

募集テーマ「はじまり」

はじまりはいつも、ワクワクドキドキ
新しい世界へ歩み出す私たち
ときに「はじまり」は、あとから気づくもの
いつ、どこで、どう始まった？ 問いかけながら物語を紡ぎます
様々な「はじまり体験」「はじまり物語」大募集！

部門・字数・賞

一般の部	2,000字(400字詰原稿用紙5枚)以内 大賞1編(副賞20万円) 優秀賞3編(副賞5万円) 佳作5編(副賞1万円)
中学生の部	1,200字(400字詰原稿用紙3枚)以内 大賞1編(副賞1万円) 優秀賞3編(副賞5万円) 佳作5編(副賞3万円) ※副賞は図書カード
小学生の部	800字(400字詰原稿用紙2枚)以内 大賞1編(副賞5千円) 優秀賞3編(副賞3千円) 佳作5編(副賞2千円) ※副賞は図書カード

応募方法

作品とは別の用紙に ●作品タイトル ●氏名(フリガナ)
●年齢 ●性別 ●職業 ●学校名と学年(小中高生の場合)
●郵便番号 ●住所 ●電話番号 ●この賞を何で知ったか
●(お持ちの場合は)Eメールアドレスを明記し、必ず作品に
添付して「郵送」「ホームページ内所定フォーマット」又は
「Eメール」のいずれかで下記へご応募ください。

宛先:「徒然草エッセイ大賞」事務局

〒614-8501 京都府八幡市八幡園内75
八幡市政策企画部生涯学習課 ☎075-983-3088
✉ yawata@tsurezure-essay.jp
🌐 <https://www.tsurezure-essay.jp> 徒然草エッセイ大賞 検索



応募締切

令和6年9月20日(金) 必着

入選作発表

- 令和7年2月初旬までに、入選者に結果を通知します。
- 令和7年2月末までに入選作を発表し、専用HPで作品名と入選者名を公表します。
- 授賞式の翌営業日に、専用HP上で入選作品全文を公表します。
- 大賞3作品は、小説・エッセイ文庫「文蔵」(PHP研究所発行)誌上に採録します。
- 「入選作品集」を作成し、入選者に提供、図書館等に配布します。

授賞式

令和7年3月15日(土) 午後に石清水八幡宮で授賞式を行います。大賞および優秀賞受賞者には旅費を負担します。
※佳作受賞者は自己負担をお願いします。

<応募上の注意>

- *プロ・アマは問いません。どなたでも応募できます
- *応募は1人1作品に限ります
- *国籍は問いませんが、日本語作品に限ります
- *応募作品はオリジナルで未発表のものに限ります
(著作権問題や二重投稿が判明した場合は失格とし、入選決定後に判明した場合は入選を取り消します)
- *応募作品は返却しません
- *審査や結果に関するお問い合わせには応じかねます
- *規定文字数内であれば、文字数の多寡は審査に影響を及ぼしません
- *学校・学級・クラス単位の応募も可能です
- *入選作の著作権は主催者に帰属します
- *入選作品は、作品、作者名、年齢、市区町村名を入選作品集やホームページ、新聞等で公表します
- *授賞式内で撮影する集合写真は、後日専用ホームページにて掲載します
- *授賞式の様子は専用ホームページにて、一定期間動画配信を行います
- *最終選考作品は作品名及び作者名を入選作品集に掲載します
- *応募で得た個人情報は当事業以外の目的で使用しません
- *応募にあたっては、上記に同意いただいたものとみなします

徒然草について

鎌倉～室町期に生きた法師・吉田兼好が、つれづれなるまま、心のおもむくままに綴ったエッセイ集で、『枕草子』『方丈記』と並ぶ日本三大随筆文学のひとつ。多彩な全243話で構成されています。以下は有名な序文です。

つれづれなるままに 日くらし硯にむかひて
心にうつりゆくよしなし事を そこはかとなく
書きつくれば あやうこそものぐるほしけれ
(することもなく手持無沙汰なのにかまけて、
一日じゅう硯に向かい、心に浮かぶとりとめ
ないことを、あてもなく書いていると、不思議に心が高ぶってくることよ)

やわたし 京都府八幡市について

京都府南部に位置し、平安京守護のために建立された石清水八幡宮の門前町として古来より発展。国宝・石清水八幡宮を擁する男山、松花堂庭園、桂川・宇治川・木津川が出会う三川合流域、桜並木が見事な背割堤、流れ橋などの歴史・文化・自然を有し、来訪者に様々な“出会いの物語”を提供する観光まちづくりに取り組んでいます。令和4年に、市制施行45周年を迎えました。



八幡市

第三回松花堂昭乗イラストコンテストについて

1. 応募内容

応募期間	令和6年6月3日（月）から11月29日（金）
テ ー マ	「幸せ」 皆さんはどのような時に幸せとを感じるでしょうか。 何気ない日常の中にある小さな幸せや、大切な人たちとの特別な瞬間をイラストで表現していただけるテーマを設定 美味しいものを食べたとき、友だちと過ごす楽しいとき、頑張って目標を達成したときなど、日常の中には数え切れない“幸せ”が溢れている。自由な発想で、あなたならではの“幸せ”を描かれ、見る人の心が動く素敵な作品が生まれることを期待したテーマ

2. 授賞式

日 時	令和7年3月1日（土）午後1時開式（予定）
会 場	松花堂庭園・美術館

第三回

しょう か どう しょう じょう
松花堂昭乗

イラストコンテスト

募集
テーマ

幸せ

あなたらしい
自由な発想で
“幸せ”を
描こう！



応募締切

令和6年11月29日(金) 必着

応募方法

郵送またはWEBのいずれかでご応募ください。



郵送

作品の裏面に必要事項を明記。または、サイトより応募用紙をダウンロードして記入し、しっかりと貼り付け、応募先まで郵送してください。

- ①氏名(ふりがな) ②年齢 ③学年(該当する方のみ) ④郵便番号・住所
- ⑤電話番号 ⑥(お持ちの場合は)Eメールアドレス ⑦作品タイトル
- ⑧作品説明やコメント ⑨このコンテストを何で知ったか

※作品の向きがわかるように裏面の情報と上下をあわせてください。郵送時の折り曲げ禁止！

応募先

〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2階
日本コンベンションサービス株式会社内「松花堂昭乗イラストコンテスト 運営事務局」
TEL:06-6221-5937 ※サイトにある宛名用紙を貼り付けることで切手不要で郵送できます。



WEB

専用ホームページ内の
応募フォームからご応募ください。



松花堂昭乗イラストコンテスト

検索

<https://site2.convention.co.jp/yawata-illustration>

募集部門

小学生の部 / 中学生の部 / 高校生の部※

※令和7年4月1日時点で16歳から18歳の方。高校在籍の有無は問いません。



八幡市

主催: やわた 八幡市 八幡市教育委員会

協力: 京都精華大学 (公財)やわた市民文化事業団

後援: 京都府 京都府教育委員会 八幡市文化協会 (一社)八幡市観光協会

募集
テーマ

幸せ

募集作品

- A4サイズ
(デジタルの場合 2480×3508pixel, 350dpi)
- 縦、横は自由
- 表現方法と画材は自由
デジタル・アナログどちらでも可
(写真・コピーは不可、CGプリントアウトは可)
- 1人複数応募可、連作不可

応募上の注意

- ・応募作品はオリジナルで未発表のものに限ります。
(タイトル・イラストには著作権に抵触するものを描かないください。
入選決定後、著作権問題や二重投稿が判明した場合は入選を取消
します)
- ・1人複数口応募可能ですが、連作は不可です。
- ・応募作品は返却しません。
- ・審査や結果に関するお問い合わせには応じかねます。
- ・団体名での応募不可。
- ・海外からの応募可。
- ・入選作品の著作権は主催者に帰属します。
- ・入選作品は、作品、作者名、年齢、市区町村名等をホームページ、新聞
等で公表します。
- ・応募で得た個人情報 は当事業以外の目的で使用しません。
- ・ご応募いただいた作品は、今後の八幡市広報活動に使用させていた
だくことがあります。
- ・応募にあたっては、上記に同意いただいたものとみなします。

募集部門

小学生の部 / 中学生の部 / 高校生の部※

※令和7年4月1日時点で16歳から18歳の方。高校在籍の有無は問いません。

応募締切 **令和6年11月29日(金)** 必着

入選作品発表・授賞式・展示

- ・令和7年1月末までに、入選者に結果を通知します。
- ・令和7年2月上旬に入選作品を発表し、ホームページで作品と入選
者名を公表します。
- ・令和7年3月1日に松花堂庭園・美術館(予定)にて授賞式を開催し、
その後入選作品の展示を行います。
- ・令和7年3月中旬からは八幡市役所にて入選作品の展示を行います。

“幸せ”と聞いて、何を思い浮かべますか？
美味しいものを食べたとき
友だちと過ごす楽しいとき
頑張って目標を達成したとき
日常の中には数え切れない“幸せ”が溢れていて
想い浮かべる光景はきっと人それぞれ。
“幸せ”は色も形も決まっていません。
自由な発想で、あなたならではの“幸せ”を描いてみましょう。
見る人の心が動く、素敵な作品が生まれるはずですよ。
たくさんのご応募をお待ちしております。

松花堂昭乗イラストコンテストについて

京都府八幡市が市制施行45周年を記念して2022年に初めて開催した「松花堂昭乗イラストコンテスト」は、今年で3回目の開催となります。八幡市の芸術・文化の発信、シビックプライドの醸成、子ども達の創造性の育成のため、小・中・高校生を対象に全国からイラストを募集します。

各賞

- 大賞 1名 ペンタブレット
- 各部門ごとに
- 最優秀賞 1名 コピックマーカー 72色セット
- 優秀賞 1名 コピックマーカー 36色セット
- 佳作 1名 コピックマーカー 24色セット

特別賞

- 白身魚(堀口 悠紀子)特別賞 1名 コピックマーカー 72色セット

副賞として、受賞作品が印刷された2025年度のオリジナル卓上カレンダーを、入選者全員にお渡しいたします。

選考委員

吉村 和真(京都精華大学 マンガ学部教授)
小川 剛(京都精華大学 マンガ学部准教授)
堀口 悠紀子(八幡市出身のイラストレーター)
平井 俊行(松花堂庭園・美術館 館長)

しょう か どう しょう じょう や わ た し 松花堂昭乗と京都府八幡市について

松花堂昭乗



江戸時代初期の石清水八幡宮のお坊さん。書道、絵画、茶道などあらゆる芸術に秀でており、特に書は、将軍に教えるほどの腕前だったそう。茶の湯をこよなく愛し、多くの文化人と交流を深めました。

京都府八幡市

京都府南部に位置し、平安京守護のために建立された石清水八幡宮の門前町として発展しました。桂川・宇治川・木津川の3つの川が合流するめづらしい地形で、川沿いには約1.4キロ続く見事な桜のトンネルがあり、毎年多くの観光客が訪れています。

八幡市公式SNSで、八幡市の魅力など様々な情報を発信中！



八幡市

【八幡市公式HP】
<http://www.city.yawata.kyoto.jp/>



社会教育委員及び公民館運営審議会委員名簿（案）

（令和5年7月1日～令和7年6月30日）

委員氏名	住 所	期	就 任	選出分野
秋山 幸也	京都市伏見区淀川顔町 544	2 期	令和 5 年 ※R5. 4. 1～	学識経験者
藤原 邦男	八幡市岩田北ノ口 33	2 期	令和 3 年	体育団体代表
吉川 栄樹	八幡市八幡森 4	1 期	令和 5 年	青少年育成団体代表
辻井 理恵	八幡市八幡山田 24-13	1 期	令和 5 年	文化団体代表
前野 あゆみ	八幡市欽明台西 70 (美濃山小学校内)	1 期	令和 6 年 ※R6. 4. 1～	学校代表
藤田 美代子	八幡市橋本新石 3-9	2 期	令和 3 年	女性団体代表
眞柄 以久代	八幡市八幡安居塚 96-11	3 期	令和元年	人権教育・啓発団体代表
栴井 裕里子	八幡市男山美桜 14-2	1 期	令和 5 年	P T A代表
金子 功	八幡市男山美桜 5-37	2 期	令和 3 年	市民公募
大寄 秀信	八幡市橋本塩釜 10-4	1 期	令和 5 年	市民公募